

独立行政法人日本貿易保険 決算報告書

(2006年4月1日～2007年3月31日)

(単位:百万円)

区分	予算額(A)	決算額(B)	差額(B-A)	備考
収入				
業務収入	10,883	11,892	1,009	
正味収入保険料	9,775	9,187	588	(注1)
正味回収金	152	2	150	(注2)
受取利息	956	2,701	1,745	(注3)
その他業務収入	0	1	1	
被出資財産からの回収金	16,973	94,494	77,521	(注4)
有価証券の償還	7,500	7,500	0	
短期借入金	0	0	0	
前年度繰越金	42,795	42,795	0	
計	78,151	156,680	78,529	
支出				
業務支出	5,745	5,763	18	
正味支払保険金	1,134	62	1,072	(注5)
人件費	1,410	1,426	16	
国庫納付金	0	0	0	
その他業務支出	3,201	4,275	1,074	(注6)
投資支出	715	6,056	5,341	
システム開発費	700	5,929	5,229	(注7)
その他投資支出	15	127	112	(注8)
有価証券の取得	15,000	86,494	71,494	(注9)
短期借入金返済	0	0	0	
その他の支出	2	11	9	(注10)
翌年度繰越金	56,689	33,781	22,908	
予算差異	-	24,577	-	
計	78,151	156,680	78,529	

(注)金額は、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

【予算額との差額の主な要因は、以下の通りです。】

- (注1) 当初予定を下回る保険契約高となったことから、予算額を下回りました。
- (注2) 正味支払保険金が少なかった事等により、正味回収金は予算額を下回りました。
- (注3) 被出資財産からの回収金が当初予定を大幅に上回ったことから、この回収金を財源として余裕金を運用したことにより受取利息の額は予算額を大幅に上回りました。
- (注4) 債務国からの期限前返済等により、被出資債権からの回収金は予算額を上回りました。
- (注5) 事業環境が良好であったことから、正味支払保険金は予算額を下回りました。
- (注6) システム開発に伴う関連経費等の支出の増加により、その他業務支出は予算額を上回りました。
- (注7) システム開発のスケジュールを変更したため、システム開発費は予算額を上回りました。
- (注8) システムの機能拡充のためハードウェア等の調達により、予算額を上回りました。
- (注9) 被出資財産からの回収金が予算額を上回ったことから、これを財源とする国債等の有価証券の取得も予算額を上回りました。
- (注10) ファイナンスリースと預託金の支出を計上しています。